

## 夏期研修会および研修地の安全について 07.06.29

行橋カトリック幼稚園 園長 山元 眞

研修地はフィリピンのミンダナオ島にあるキダパワン市。日本人の松居友さんが主宰する「ミンダナオ子ども図書館」はこの町にあります。自宅には十分な（最低限度の）教育を受けられない小学生以上の子どもたちが共同生活をしながら学校に通っています。フィリピン政府とアメリカ軍との合同演習によって生じた難民の子どもたちも受け入れています。彼らは日本の皆さんから奨学金を得て勉強しています。土日の休日には近辺の村に出かけて行き、村の子どもたちに絵本の読み聞かせや、一緒に楽しく遊んだりしてボランティア活動をしています。その際、医療の必要な子どもがいると、必要な医療機関を紹介し、面倒をみます。民族の壁も、宗教の壁も乗り越えて、共に生活するこの施設の子どもたちは、将来フィリピンの平和を担っていくことでしょう。

「ミンダナオ子ども図書館」は決して危険な地区ではありません。むしろ、貧困の中にある子どもたちが基本的教育や医療を受けることができる希望の場所でもあります。電気、水道、トイレも完備されています。パソコンも使うことができます。子どもたちの表情は至って明るく、かえって施設を訪れる人に希望与えるというような状況です。

日本のように快適で便利な生活はできませんが、人としての基本的な衣食住は保証されており、そのような状況で子どもたちと生活を共にすることは、短期間であっても得るところが多いはずです。

昨今の日本の子どもたちを取り囲んでいる状況は、けっしてよいものとはいえません。物質的に恵まれすぎている環境は、人と人が関わる喜びを遠ざけています。このような貧しい地域の子供たちと生活を共にすることは、人間としての根本的な生きる喜びを体験するいい機会だと思えますし、この体験はかならず日本の幼児教育に役立つものであることを信じています。また、わたしたち職員間の絆を深めるためにも役立つことでしょう。

このような機会を作り、実行することには種々の困難が伴いますが、今年は種々の状況を考え、ラストチャンスと思い計画したわけです。

ミンダナオ島での研修が成功しますように、職員のご両親の皆さまにも、ご理解とご協力をぜひいただきたく存じます。よろしくお願ひします。